

今の自分と未来の自分と

さいたま市教員等資質向上指標 (キャリアnavi) 【養護教諭】

キャリアステージ	キャリア段階			
	採用時	基礎形成期（1年～5年）	伸長期（6年～15年）	充実期（16年～）
求められる資質	教育に対する知見を深め、基盤を形成する。	組織の一員として教育活動を展開し、教員としての基礎・基本を身に付ける。	組織運営に参画したり実践的な専門性を高めたりする。	組織運営を推進したり、模範となる実践を展開したりする。

さいたま市が求める教師像：「豊かな人間性と社会性」「強い使命感と教育への情熱」「幅広い教養と実践的な専門性」を備えた常に学び続ける教師	教職に必要な素養	養護教諭の職務			
		土台となる資質	学校運営	危機管理	連携・協働
	新しい時代における教育の意義や役割の理解、法令を遵守すること及び教育的愛情をもって教育活動を展開することの重要性を理解している。	「令和の日本型学校教育」を踏まえた新しい時代における教育、学校及び教職の意義や社会的役割・服務等を自覚するとともに、常に学び続けようとしている。 ・自らの働き方を振り返り、日々の生活の質や教職人生を豊かにしている。 ・教育的愛情や人権意識をもち、円滑なコミュニケーションにより、良好な人間関係を構築している。	学校教育目標を踏まえた保健室の経営方針を明確にするとともに、組織の一員として役割を自覚し、他の教職員と協働した教育活動を展開している。	分掌の中心として、自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教職員との協力や関わりを通して学校運営を推進・改善している。	自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教職員と協力するとともに、業務改善の意識をもった環境づくりを支援するなど、学校運営の推進・改善に向けた指導的役割を担っている。
	家庭、地域との連携の重要性を理解している。	「地域とともにある学校づくり」を理解し、校内外の関係者と積極的に関わり、連携・協働した対応をしている。	「地域とともにある学校づくり」を目指し、校内外の関係者と積極的に関わり、連携・協働した対応をしている。	「地域とともにある学校づくり」を推進し、校内外の関係者と連携・協働した活動を企画・立案することができる。	
	保健管理に関する基礎的・基本的な知識・技能を理解している。	児童生徒の心身の状態を把握し、個人情報や各種記録等を適切に管理している。	把握した保健情報を活用して、健康課題の解決に向けた組織的な取組をしている。	保健管理について、円滑に実施するとともに、後進の育成に努めている。	
	保健教育に関する基礎的・基本的な知識・技能を理解している。	児童生徒の実態に応じて、個や集団を対象にした保健教育を行っている。	児童生徒の実態に応じて、保健教育を組織的に推進している。	保健教育について、円滑に実施するとともに、後進の育成に努めている。	
	健康相談及び保健指導に関する基礎的・基本的な知識・技能を理解している。	養護教諭の専門性を生かして児童生徒の心身の健康課題を捉え、解決に向けて取り組んでいる。	児童生徒の心身の健康課題解決のために、校内外の組織を活かした取組をしている。	健康相談及び保健指導について、円滑に実施するとともに、後進の育成に努めている。	
	保健室経営に関する基礎的・基本的な知識・技能を理解している。	学校教育目標を踏まえて作成した保健室経営計画に基づき、保健室経営をしている。	関係職員と協働し、保健室経営をより効果的に推進している。	業務改善の意識をもって、保健室経営をより効果的に推進するとともに、後進の育成に努めている。	
	保健組織活動に関する基礎的・基本的な知識・技能を理解している。	校内の関係職員と連携・協働して、保健組織活動の企画運営をしている。	校内外の関係者と連携・協働して、活動内容を工夫した保健組織活動の企画運営をしている。	保健組織活動について、円滑に実施するとともに、後進の育成に努めている。	
	児童生徒理解	児童生徒理解の意義と重要性を理解している。	児童生徒の権利を理解し、一人ひとりに受容的かつ共感的に働きかけるとともに、他の教職員等と連携し、児童生徒のよさや可能性を伸ばす成長・発達を支援している。	児童生徒の権利を理解し、一人ひとりの特性や心身の状況に応じた柔軟な働きかけを行うとともに、校内外の関係者と連携し、児童生徒のよさや可能性を伸ばす成長・発達を支援している。	
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への指導	一人ひとりの特性等の把握と、教育的ニーズに応じた適切な指導や支援の意義と重要性を理解している。	一人ひとりの特性等を把握し、教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行っている。	一人ひとりの特性等を把握した上で、関係機関を活用し、組織的かつ計画的に指導や支援を行っている。	
	ICTや情報・教育データの活用	ICT活用の意義や効果的な活用法を理解し、基本的なスキルを獲得しているとともに、教育データを適切に活用する意義と重要性を理解している。	保健管理・保健教育等においてICTを適切に活用するとともに、教育データを適切に活用している。		

主幹教諭としてさらに必要な資質	ビジョンの具現化	校長の示す学校経営ビジョンを実現するために、組織の調整等を行い、適切な指導・助言をしている。
	教育課程の編成・実施及び評価・改善	学校教育目標を実現するための教育課程を編成し、校内の体制を整え、教育課程の実施及び評価・改善について、適切な指導・助言をしている。
	人材育成	教職員の能力や適性を把握し、キャリアステージに応じた指導・育成を適切に行っている。